



## 京都府国際交流員の思い出:心の古郷、京都へ

### ～5年を振り返り、京都と日本の国際化を考える～

5年間で京都府国際交流員として経験したこと、身に付けた知識、京都での思い出などを活かして、日本と京都府のこれからの国際化・多文化共生について意見と感想を述べ、府民と意見交換しながら、地域の国際化・多文化共生や振興を一緒に考える場を設けた。

日時： 写真パネル展 2016年6月15日(水)～6月20日(月)  
異文化理解講座 2016年6月18日(土) 14:30～16:30

内容：

#### 写真パネル展「おおきに、心の故郷、京都 ～笑、涙、感動、冒険の混ざった5年間」

5年間の仕事の様子(学校訪問、外国人住民対象のフィールドトリップ、フランスとの交流事業など)、とプライベートでの経験(旅、京都での生活、よさこいなど)を写真と感想文で展示した。写真数：約100枚、A3、カラー

#### 講演会「そして、京都と出会った ～外国人府民としての想い、地域の国際化を考える」

##### ➤ 講演会 14:30～16:00

5年間で京都府国際交流員として関わった仕事と身に付けた知識、または京都府の外国人住民としての経験を活かし、日本と京都府への思い出、感想、それから地域の国際化・多文化共生と振興について語った。

##### ➤ 交流会 16:00～16:30

フランスのお菓子を食べながら、参加者と、または参加者同士の楽しい交流会を開いた。講演会の話の踏まえ、意見交換会も行った。

行政が外国人住民の生活をどのように支援できるか、「ハーフ」の表現に関する感想、移民と難民の受け入れなどについて話し合った。

講師： ボナミ・アリス 当センター国際交流員(フランス出身)

会場： 京都府国際センター (京都駅ビル9F)

対象： 地域振興、国際交流、異文化コミュニケーションなどに興味のある方

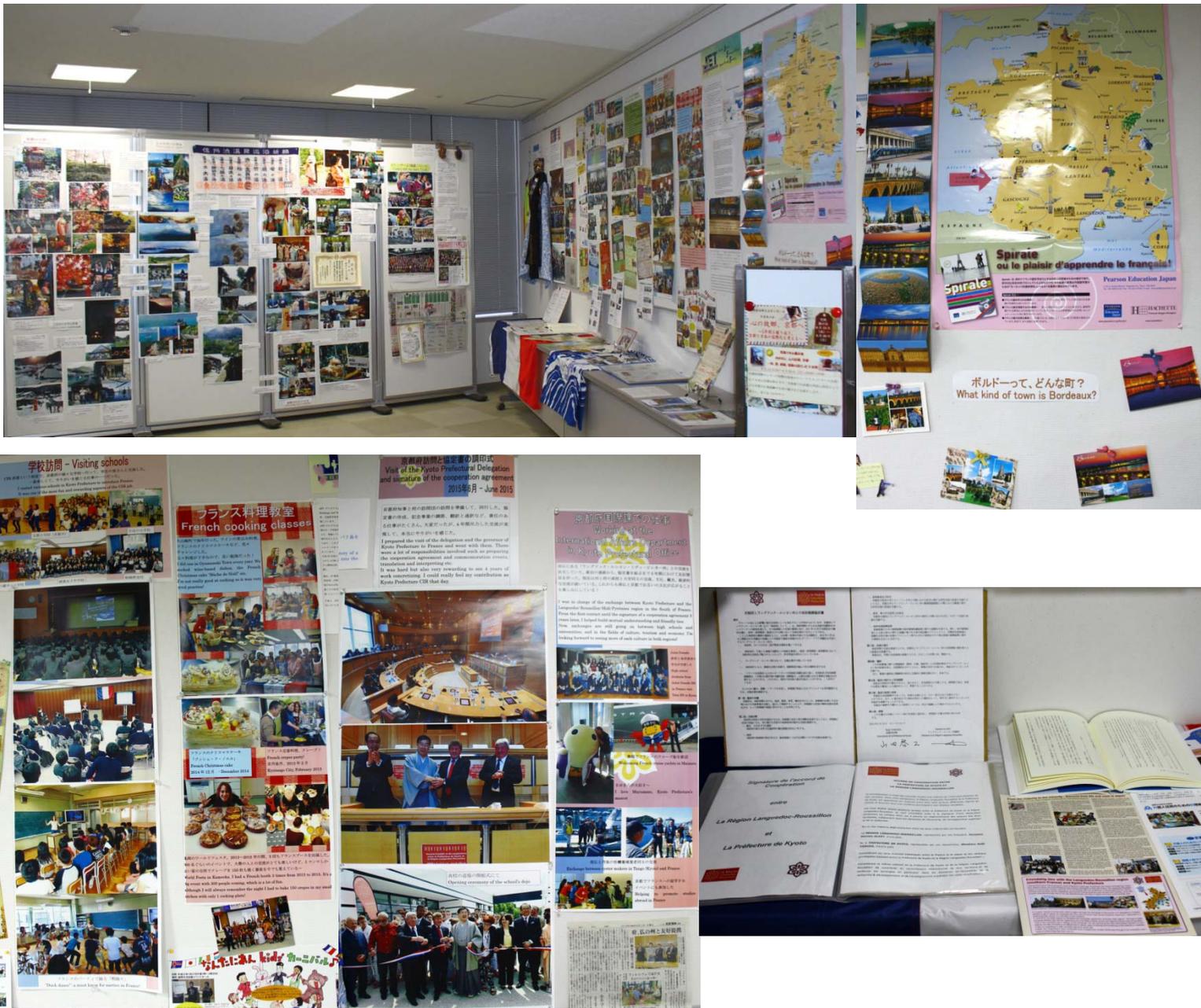
参加者： 37名

主催：（公財）京都府国際センター

アンケート結果：

- \* これから先、様々な文化やアイデンティティを持っている人達とうまく共存していくにはどうすればよいか考えるきっかけになりました。
- \* 日本をよく知る方から見た日本・共生のあり方を知ることができました。他では聞いたことのないアドバイスは特に参考になりました。
- \* 特にマイクロアグレッションの話を理解できて良かった。聞かないと知らないままでした。異文化理解の大きな助けになりました。
- \* 自分で異文化を直接に知り、母国の文化を再確認する大切さを感じました。
- \* 色んな考え方、価値観があること、ものの見方ととらえ方が面白かったです。

展示会の様子：





鈴・Bella  
左足に付けて、舞を通じて踊り手の想いと精神的な世界への繋がりを象徴している  
Attached to the left foot, it symbolizes the link with the spiritual world and the dancer's feelings

**よさこいチーム[颯戯 | FU-JA]**  
**Yosakoi with my team, FUJA**

谷新願  
九つと揃めり  
一番初湯  
一番釜の湯  
一番綿の湯

認定証  
本アカリ又棟  
あなたに本学院において  
着物教育に情熱を注ぎ  
認定証に合格されました  
ことを証し本状を交付します  
西暦 2011年 8月 10日  
西暦 2011年 8月 10日  
西暦 2011年 8月 10日  
西暦 2011年 8月 10日

This year's theme is "Shinato no Kaze", the god's wind. Shinato is the old name of the wind's god and is also the sound made by the wind.  
First performance will be in Kochi this summer!  
入団して2年

講演会の様子：

